



- 設計者の皆様方へ ※オーダーされる前に必ずお読み下さい※不明点等ございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。
- 施工業者の皆様へ ※施工される前に必ずお読み下さい※不明点等ございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

※目地施工のおすすめ・デザイン柄のシンプルな製品は(目地巾3mm以上)目地施工をおすすめします

凹凸の激しいブリックに関しては突き付け部の暴れが目立ちづらいですがシンプルな柄のブリックの施工に関しては目地施工で仕上げていただきますときれいに仕上がります。(施工時に設計者をご協議下さい。)

DSCブリックはGRC製品です。(ガラス繊維強化セメント)

**【DSC (ディーエスシー) ブリック施工及び専用接着剤について】** \*2016年2月4日改訂DSCブリック専用接着剤・施工説明書\*



**屋内施工**

点付け(ダンゴ)貼り用

**MS-20**

タイルメント社

屋内壁面タイル・石材施工用として開発された、点付け施工用の一液反応硬化形の变成シリコーン樹脂系接着剤です。硬化後は適度な硬さを保持することで、接着強さを確保しつつ、下地の变形やタイルの動きによる応力を緩和します。

- 变成シリコーン樹脂系接着剤
- 化学反応形無溶剤タイプ
- 指定可燃物 可燃性固体類

DSCブリックの**屋内**施工に関しては  
**屋内用・变成シリコーン樹脂系弾力性接着剤MS-20**をご使用下さい。  
(一液反応硬化形の变成シリコーン・樹脂系接着剤)

【標準使用量】 浮かし(ダンゴ)圧着時 厚 5mmの場合

60g/1点	2.4~4.0kg/m <sup>2</sup>
--------	--------------------------

(下図ダンゴ点付塗布図参照)

※1点・・・直径約50mm、高さ約30mmのダンゴ状

\*MS-20の使用時注意事項はタイルメント社製品ページで御確認下さい\*

<http://www.tilement.co.jp/products/index.html>

MS-20の取扱場所・作業場所は通気を十分に行ってください。

屋外は落下防止フック付きDSCブリックを使用して下さい



**屋外施工**

点付け(ダンゴ)貼り用

**ME-05**

タイルメント社

屋外は落下防止フック付きDSCブリックを使用して下さい

屋外壁面タイル・石材施工用(落下防止金物併用)として開発された、一液反応硬化形の变成シリコーン・エポキシ樹脂系接着剤です。硬化性に優れ、硬化後は適度な硬さを保持することで、接着強さを確保しつつ下地の变形やタイルの動きによる応力を緩和します。

- 变成シリコーンエポキシ樹脂系接着剤
- 化学反応形無溶剤タイプ
- 指定可燃物 可燃性固体類

DSCブリックの**屋外**施工に関しては  
**屋内用・变成シリコーン・エポキシ樹脂系弾力性接着剤ME-05**をご使用下さい。  
(一液反応硬化形の变成シリコーン・エポキシ樹脂系接着剤)

【標準使用量】 浮かし(ダンゴ)圧着時 厚 5mmの場合

60g/1点	2.4~4.0kg/m <sup>2</sup>
--------	--------------------------

(下図ダンゴ点付塗布図参照)

※1点・・・直径約50mm、高さ約30mmのダンゴ状

\*ME-05の使用時注意事項はタイルメント社製品ページで御確認下さい\*

<http://www.tilement.co.jp/products/index.html>

ME-05は空気の対流が少ない箇所で使用すると、湿度、温度などの条件により臭気が残る可能性があります。使用に際してタイルメント社宛ご相談下さい。

DSCブリックはライン生産の工業製品ではありません。1品ごと押し成型による手作りの商品です。従いまして、各商品は全くの均一ではなく多少のばらつき(厚さ・重量・色むらなど)がございます。施工の際などに柄合わせ・レベル調整などに多少の手間がかかりますことと合わせ商品の風合いをご理解下さい。製造ロットの違う製品が混じられることもございます。貼り込みの前に床に仮置きしバランス調整されることをお勧めします。商品の製造特性上商品の角や隅の部分に微細な欠けがありますがご理解下さい。

**【下地の調整及び清掃】**

1. 下地面及び仕上げ材のゴミ・ホコリ・油分・錆・塗料などは接着不良の原因となりますので取り除きます。
2. DSCブリック裏面を確認して裏面に付着した粉塵・ほこりなどを固く絞った布で拭き取って下さい。

チェック：若齢下地、浮き水がある下地への施工は接着不良の原因となりますので避けて下さい。

**【仕上げ材の割付け】**

1. 割り付け図面に従って基準墨から墨出しを行います。
2. ヘラなどを材を使用して接着剤を仕上げ材の裏面にダンゴ状に点付けします。
3. 目地の状態・バランスや不陸を調整しながら押さえつけるように仕上げ材を張り付けます。

(製品の表面をクッション材などで保護しラバーハンマーなどで振動を与えながら製品をしっかり圧着して下さい)

5. 2段目からはスペーサーなどを利用して目地調整をしながら張り付けます。
6. 適宜仕上げ材を剥がして裏面に接着剤が充分付着している事を確認します。

チェック：下地へ仕上げ材と同等の大きさの接着剤が付着していることを確認して下さい。

- ・仕上げ材表面に付着した接着剤は、硬化する前にシンナーなどを含ませた布で拭き取って下さい。
- ・接着剤塗布後、張り付け可能時間以内に終えて下さい。

**【養生】**

1. 仕上げ材張り付け後、接着剤が硬化するまで夏期1日以上、冬期は3日以上外力が加わらないように養生します。

